



2008年3月期 中間決算説明会

2007年12月14日
日本輸送機株式会社
代表取締役社長 裏辻俊彦

I

会社説明

(2007年9月末現在)

商号

日本輸送機株式会社(NIPPON YUSOKI CO., LTD.)

証券コード

7105 ニチュ

代表者

取締役社長 裏辻 俊彦

設立

1937年(昭和12年)8月4日

資本金

4,890,527千円

事業部門

産業車両、物流システム、その他

業種

輸送用機械器具製造

事業所

本社・京都事業所(京都府長岡京市)、滋賀事業所(滋賀県蒲生郡安土町)
東京配車センター(埼玉県北葛飾郡杉戸町)

支店

東京支店(東京都品川区)、大阪支店(兵庫県尼崎市)

従業員数

連結:2,117人 単独:655人

大株主

三菱重工業(株)、(株)ジーエス・ユアサ パワーサプライ、
日本マスタートラスト信託銀行(株)、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)他

ホームページ

<http://www.nichiyunet.co.jp>

1930年 / 1940年 / 1950年 / 1960年 / 1970年 / 1980年 / 1990年 / 2000年 / 2007年

沿革

- 2007年 三菱重工業と資本・業務提携強化
- 2007年 オンサイト研修センター開設
- 2005年 「ISO14001」認証取得
- 1997年 上海ニチュフォークリフト製造設立
- 1991年 滋賀事業所、開設
- 1987年 無線LANシステム開発
- 1974年 日本初、冷蔵庫用カプセルフォーク開発
- 1971年 世界初の無人フォークリフトを開発
- 1971年 東証1部、大証1部へ上場
- 1970年 独自開発の無人搬送車「ムジンカー」を日本初発売
- 1958年 日本初のリーチ型バッテリーフォークリフト「プラッター」を開発
- 1939年 日本初のバッテリーフォークリフトを開発
- 1937年 (株)日本輸送機製作所の事業一切を承継

主要製品



日本初の
バッテリーフォークリフト



プラッター



ムジンカー



無人フォークリフト

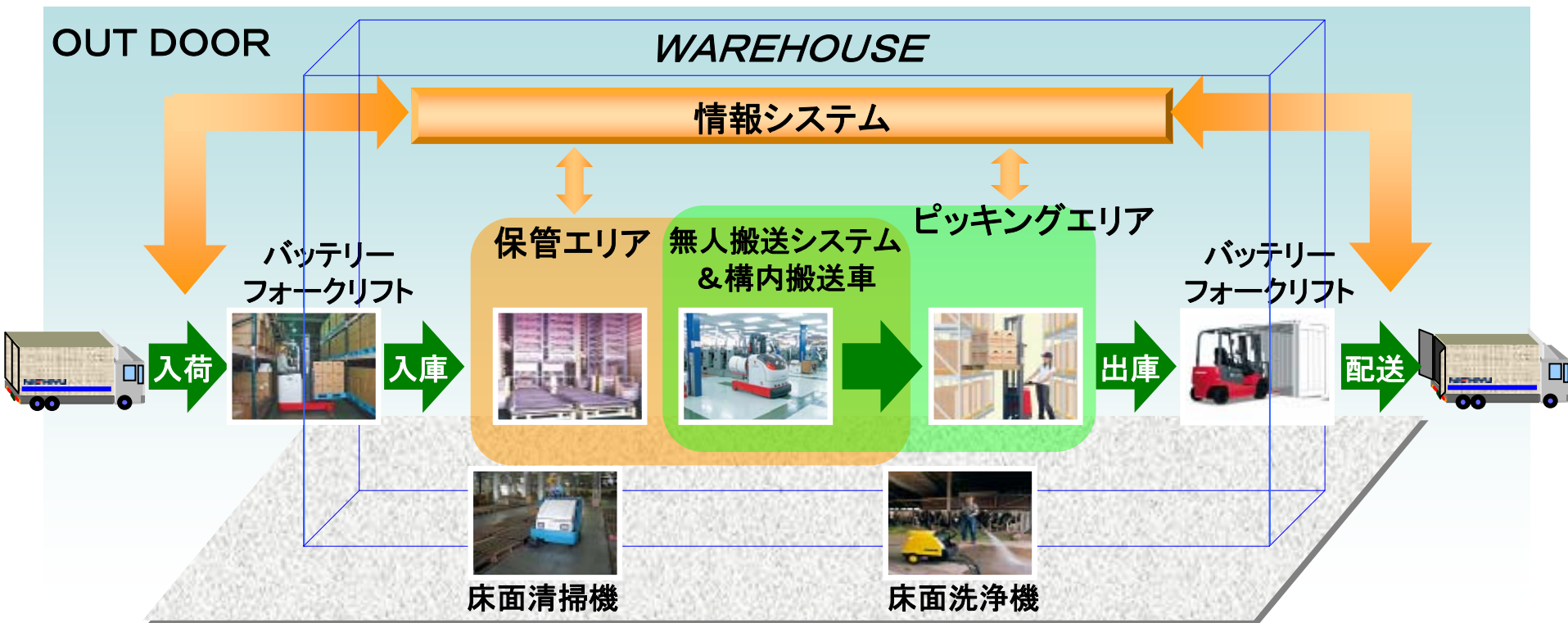


滋賀事業所



オンサイト研修センター

事業区分	主要な製品・商品
産業車両部門	バッテリーフォークリフト、保守・部品販売
物流システム部門	無人搬送システム、自動倉庫等、保守・部品販売
その他部門	床面清掃機、床面洗浄機、巻取装置等、保守・部品販売



【リーチ型フォークリフト】

フォークとマストが前後に移動するリーチ機構があり、コンパクトな車体で、その場で旋廻ができる。狭い場所での作業に向いている。



プラッター

【カウンターバランス型フォークリフト】

車体前方にフォークとマストがあり、車体後部に積荷とのバランスをとるためのカウンターウェイトがある。座乗型で積込などスピーディーな作業に最適。



トランサー

【構内運搬車】

広い荷台とノーパンクタイヤを採用。築地市場等で活躍。



エルトラック

NICHIBU

【自動倉庫】

少量保管から高度な物流管理まで対応でき、安全性・スペース効率の向上につながる。



CAS PACK

【無人フォークリフト】

ステアリング、走行、リフト操作などを完全自動化。24時間稼働が可能。



プラッターオート

II

決算概要

1

2006年9月期比増収・減益

2

生産体制・営業体制の増強

3

三菱重工業との提携強化により財務体質強化・事業基盤拡充

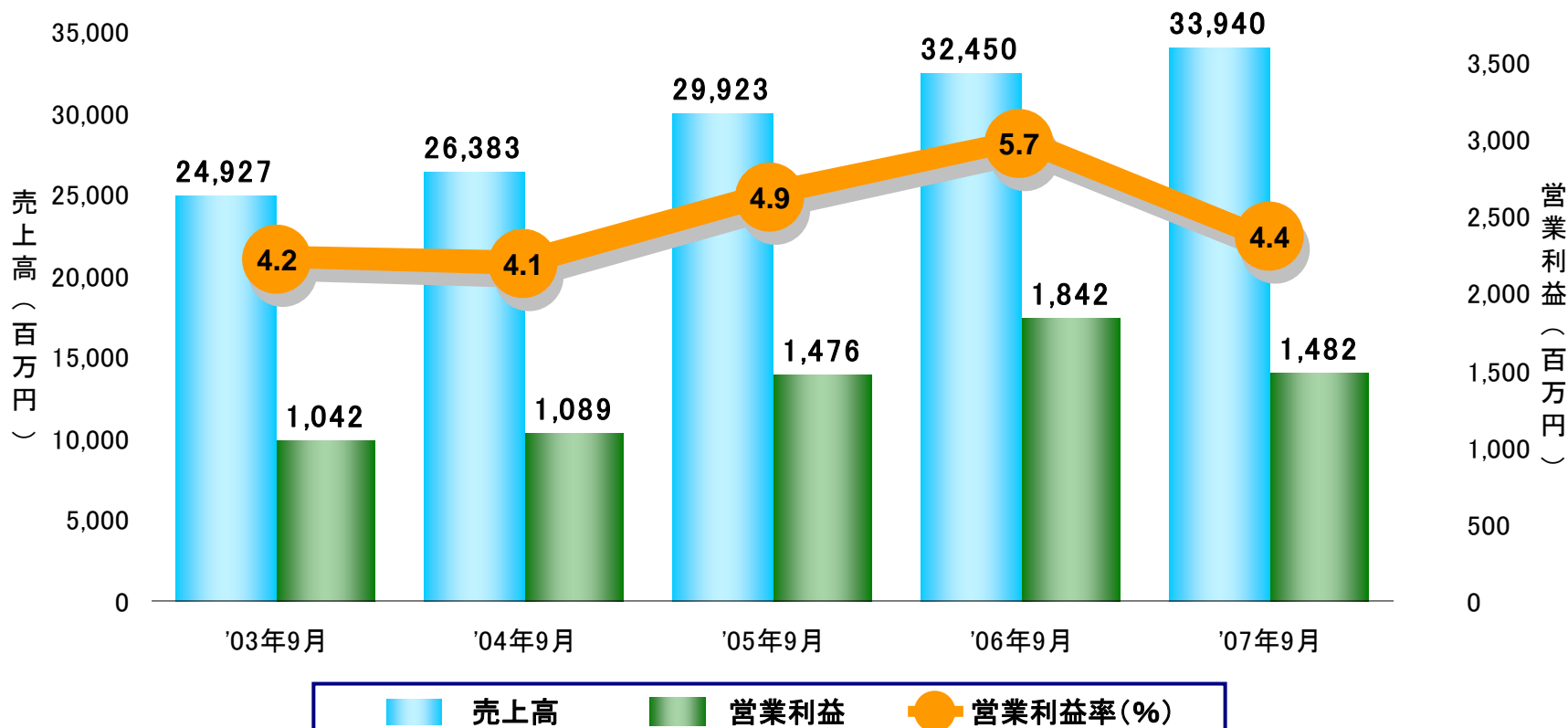
産業車両好調により増収だが、原材料費の上昇等により減益

決算の概況

(単位:百万円)	2006年9月期	2007年9月期	前年同期比増減	
売上高	32,450	33,940	+1,489	+4.6%
営業利益 (営業利益率)	1,842 (5.7%)	1,482 (4.4%)	△359 (△1.3point)	△19.5%
経常利益 (経常利益率)	1,927 (5.9%)	1,497 (4.4%)	△430 (△1.5point)	△22.3%
当期純利益	1,032	844	△188	△18.2%

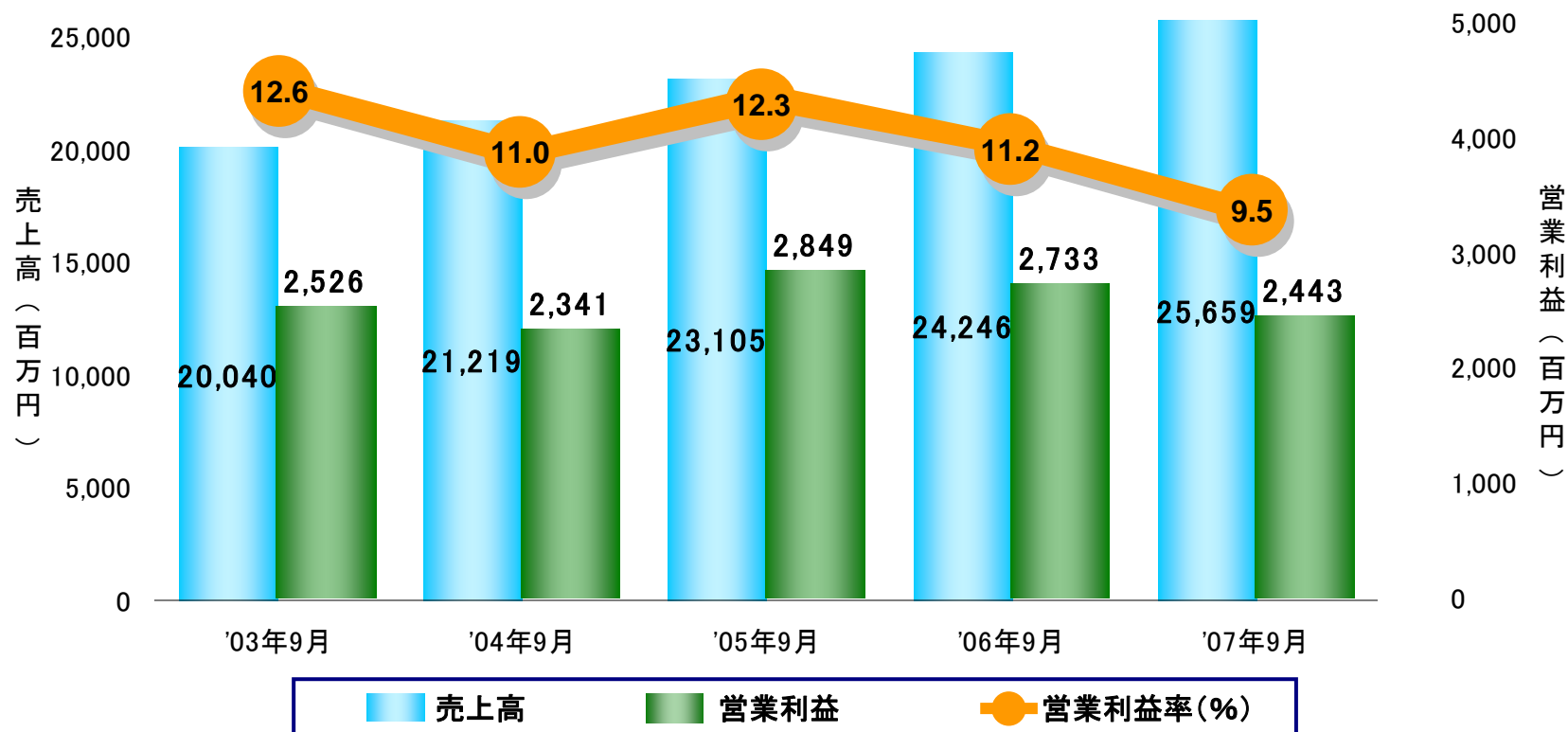
増収減益により営業利益率が低下

売上高・営業利益・営業利益率の推移

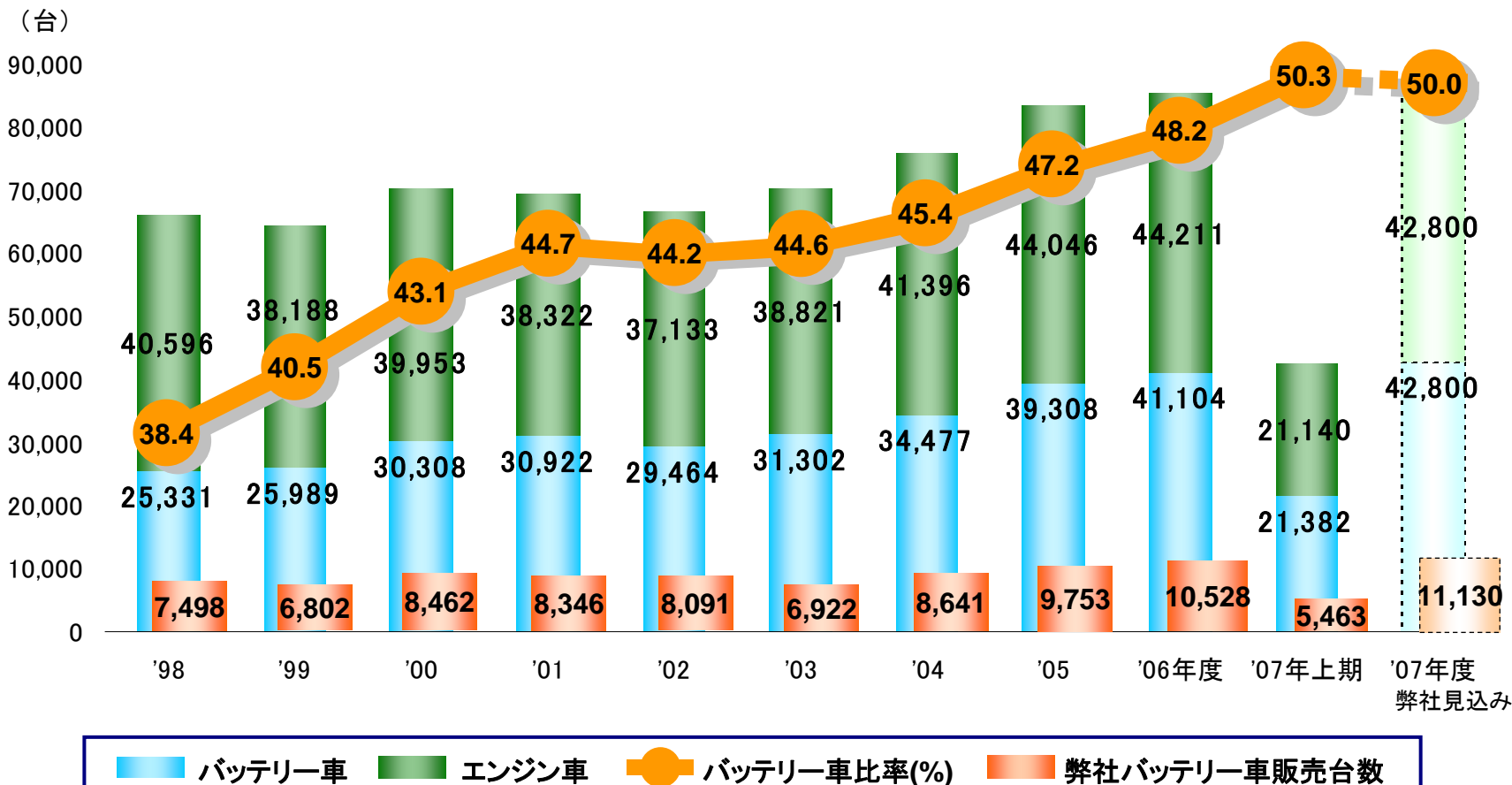


産業車両部門は前期比5.8%の増収

産業車両部門業績推移



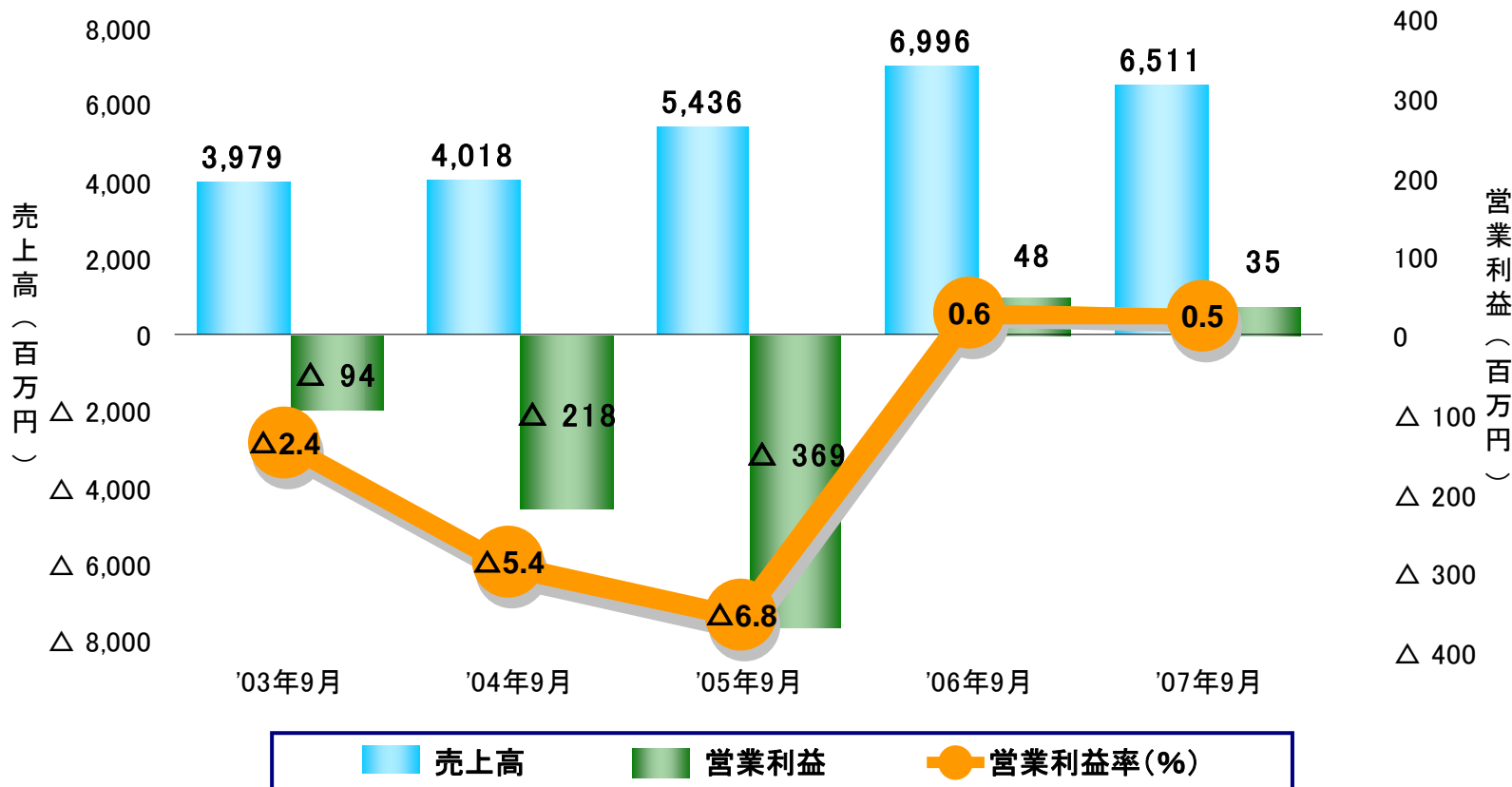
バッテリーフォークリフトの比率は初めて50%を超過



(日本産業車両協会調べ)

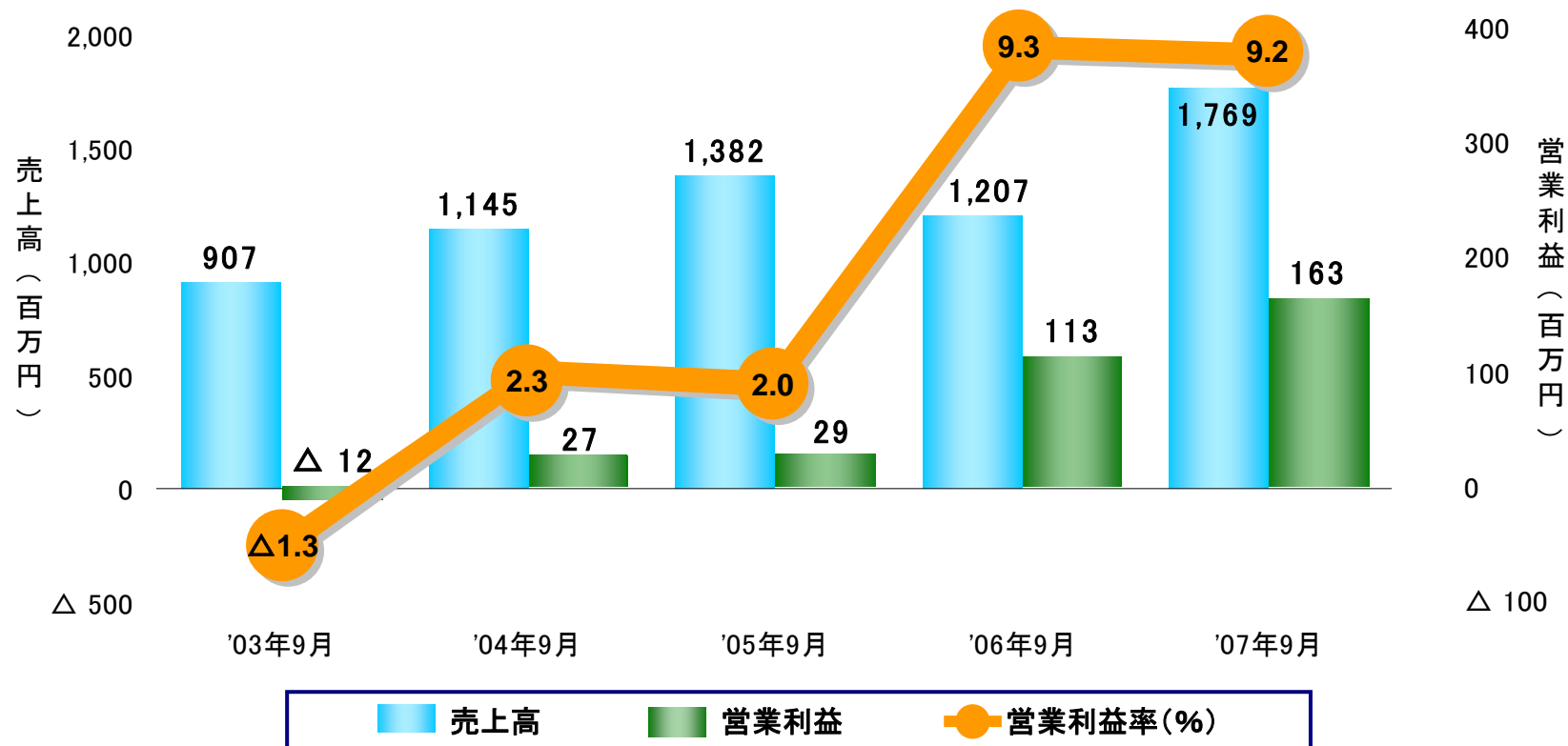
物流システム部門は営業黒字基調の定着へ

物流システム部門業績推移



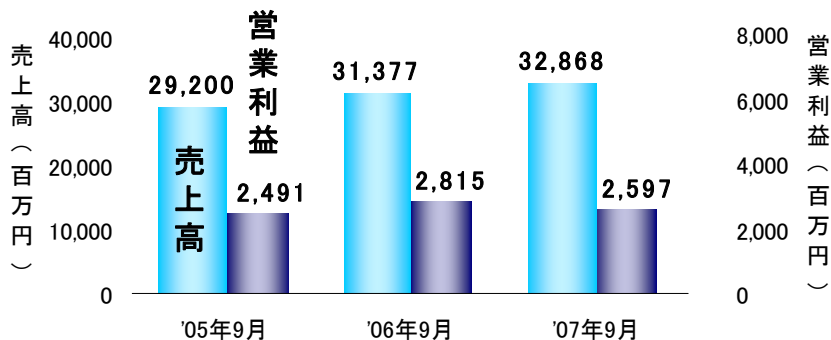
巻取機の増加等により増収・増益

その他部門業績推移

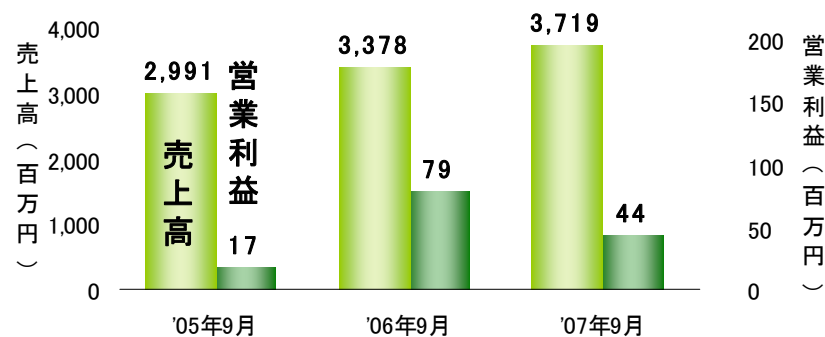


所在地別業績

日本

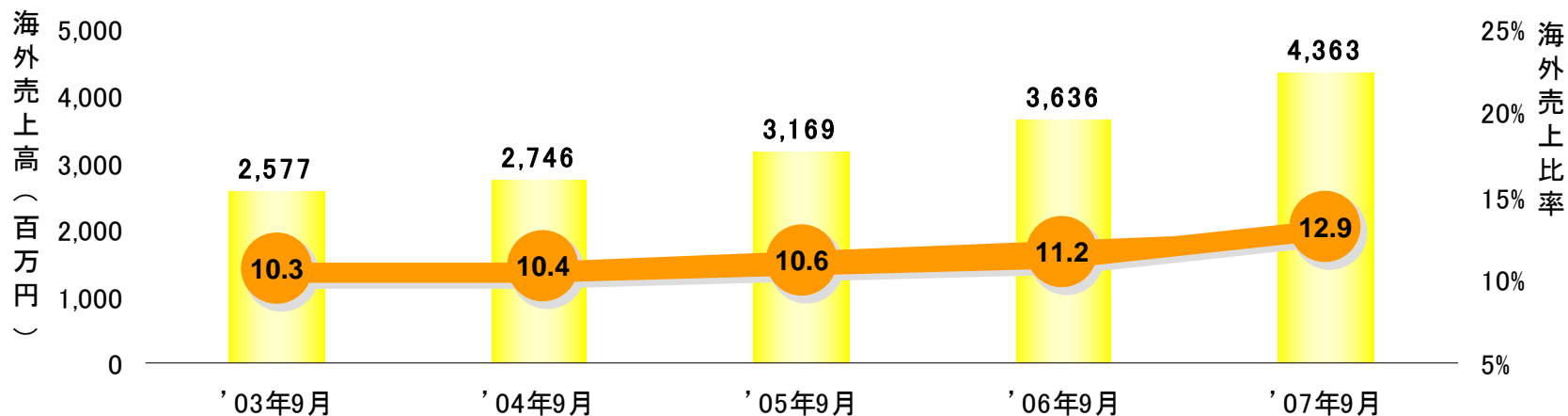


海外



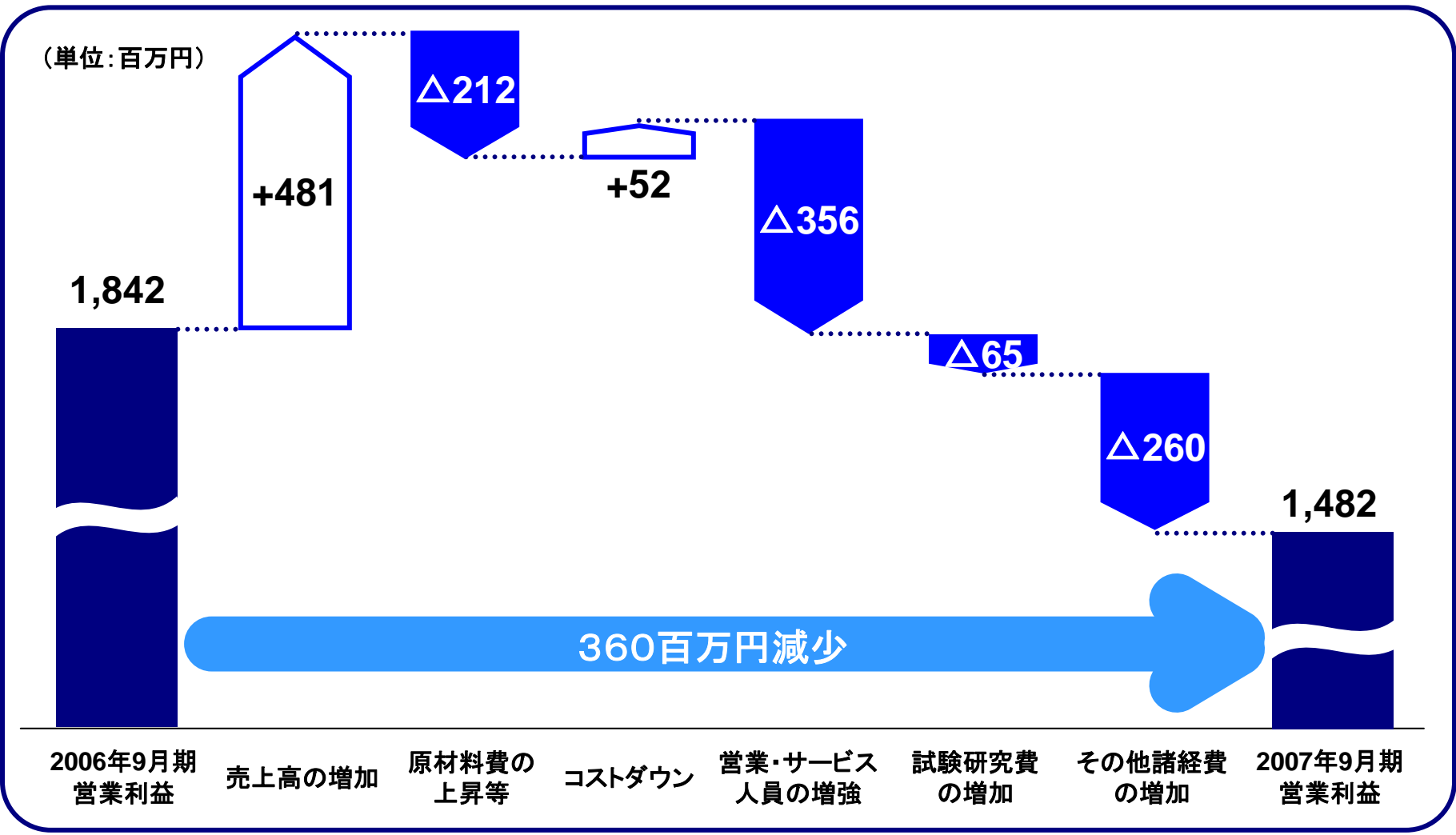
海外売上高・海外売上比率

海外売上高 ■ 海外売上比率(%) ●



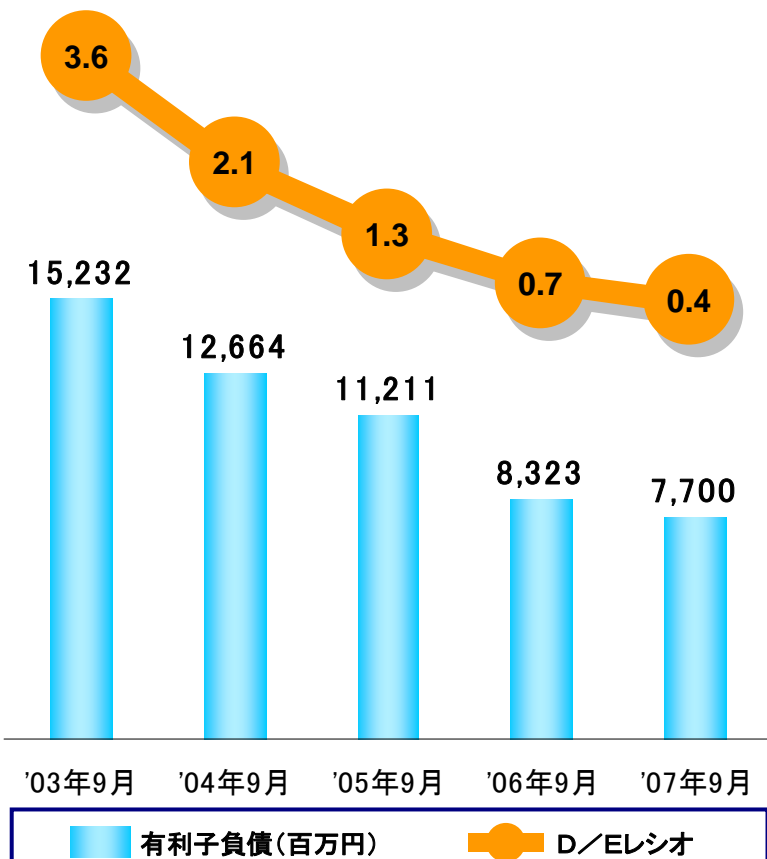
(注)海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

原材料費の上昇・人員の増強・諸経費増加等により前年同期比360百万円の減益

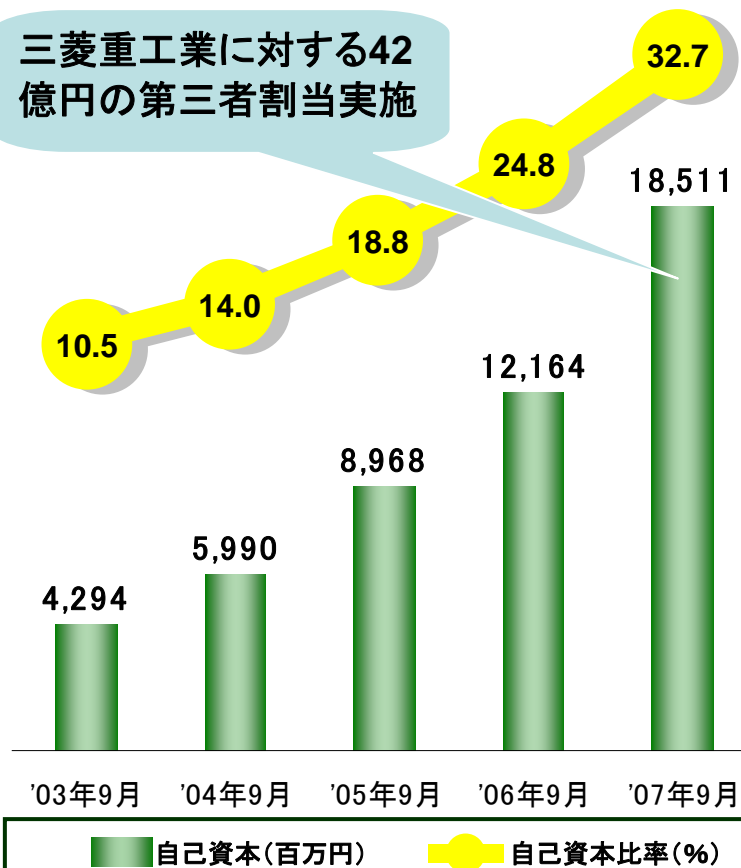


増資等により財務体質を強化

有利子負債・D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率





新工場、出荷センター等の投資を実行



(単位:百万円)



	2006年9月期	2007年9月期	前年同期比増減
営業活動による キャッシュフロー	1,043	1,708	+665
投資活動による キャッシュフロー	△1,186	△3,251	△2,065
フリー キャッシュフロー	△146	△1,543	△1,397
財務活動による キャッシュフロー	△447	3,559	+4,006



(単位:百万円)		2007年3月期	2008年3月期予想 (11月8日修正)	前期比増減
売上高		65,870	67,200	+2.0%
	産業車両部門	48,933	51,190	+4.6%
	物流システム部門	14,387	12,960	△9.9%
	その他部門	2,550	3,050	+19.6%
営業利益		3,711	2,500	△32.6%
	営業利益率	5.6%	3.7%	△1.9point
経常利益		3,990	2,600	△34.8%
	経常利益率	6.1%	3.9%	△2.2point
当期純利益		2,305	1,600	△30.6%
設備投資額		4,208	6,100	+44.9%
減価償却費		2,322	2,970	+27.9%

	2008年3月期予想		修正の要因
	5月10日発表	11月8日修正	
(単位:百万円)			
売上高	70,300	67,200	
産業車両部門	51,960	51,190	リース・レンタルの増加、販価の下落。
物流システム部門	15,200	12,960	受注低調のため。
その他部門	3,140	3,050	産業用清掃機の減収。
営業利益	3,900	2,500	売上高の減少、原材料費の上昇、 人件費(外注費含む)の増加、 研究開発費の増加等。
営業利益率	5.5%	3.7%	
経常利益	4,000	2,600	営業利益減少のため。
経常利益率	5.7%	3.9%	
当期純利益	2,350	1,600	
設備投資額	5,480	6,100	滋賀新工場の追加工事、 リース・レンタルへの投資増加。
減価償却費	2,530	2,970	設備投資増加のため。

-  **さらなるコストダウンの推進**
 -  三菱重工業との資材の共同購入・部品の共通化

-  **バッテリーフォークリフトの価格見直し**
 -  他社動向を注視しながら、当期中に実施

-  **物流システム事業の拡大**
 -  システムサービスセンターの設置による顧客満足の上昇

-  **海外での販売力強化**
 -  三菱重工業へのバッテリーフォークリフトのOEM供給

注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

お問い合わせ先

日本輸送機株式会社
総務課 山崎、小泉
〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1
TEL075-951-7171 FAX075-955-3797
<http://www.nichiyunet.co.jp>

